



Design your own road

WHILLの月刊誌

WHILL MAGAZINE

2017
MAY
5



WHILL株式会社

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-40 横浜市産学共同研究センター実験棟F区画

WHILLコンタクトデスク TEL: 0120-062-416 (IP電話の方: 050-3085-9840)

受付時間: 9:30~17:00 (月~金曜日)

HP: <http://whill.jp/contact>

WHILL



お客さまインタビュー

TAKAYA AONO

VOLUME. 17

青野鷹哉さん

WHILLに乗ったら 人との距離感が 変わってきます。

中央大学 文学部2年の青野様。

3年前の海の事故により頸椎損傷(C5完全)を負い、
2016年9月に補装具制度を利用して購入されました。

最初は多くの医療関係者から
「身体的にWHILLに乗るのは難しい」と言われましたが、
懸命なりハビリとWHILLに乗りたいという強い意志で、
現在はWHILLを使って毎日の学生生活を送っております。



なぜWHILLを選んだのか

3年前の海の事故により頸椎損傷(C5完全)を負い、手動車いすを使用していました。急な坂の多い大学に復学するにあたり、電動車いすを検討していた頃に、母がテレビでWHILLが特集されているのを見てWHILLを知り、そのあと自分でも調べてみました。WHILLの第一印象は「未来感がある、かっこいい」というもので、そのデザインが気に入りましたね。あと、受傷する前にヨットを本格的にやっていて、受傷後もパラスポーツでまたやろうと思っているので、どんな場所でも力強く走れそうなところに魅力を感じました。

いて、2年生にしてほとんどの卒業単位が取れそうなので、来年は資格取得のための勉強をしようと思っています。WHILLを購入した当初は、家の中では手動車いすで生活しようと思っていたのですが、シートスライドがあまりに便利なので、結局家に帰ってきてもずっとWHILLに乗っていますね(笑)



WHILLの気に入っているところ

まずはデザインですね。WHILLに乗ったら、外出先で子どもに純粋に「かっこいい、乗りたい」と言わされたのは嬉しかったですね。普通の車いすだったら、目をそらされたりするので。「見ちゃいけないもの」だと思われることで、人との距離感が変わってきます。

WHILLはまるで自動車のような「自由に乗っている」、「好きで乗っている」という感覚があります。

それとシートスライド。これのおかげで授業中も教室の机に近づくことができ、iPadでノートが取れます。週にたくさん授業を入れて



WHILLが来て大きく変わったこと

大学の中では一人で自由に移動ができるようになりました。手動の車いすでは少しの段差も慎重に乗り越えなければならず、体幹も麻痺しているので上半身の保持がとても大変でした。大学のキャンパスは古いのでいろんなところにいっぱい段差がありますが、WHILLならそれを気にしなくていいです。WHILLに乗ってたら段差は「乗り越えられて当然」という感じ。無意識に乗り越えていけるので、気持ちがすごく楽になりました。これからもWHILLで活動的に大学生活を送っていきたいと思います。

WHILLの中の人

SATOSHI NAKAGAWA

ユーザーの声が 私のモチベーションです。

中川智之(なかがわさとし)

大学時代は、燃料電池の電気絶縁の研究をしていました。WHILLのことは、4年前に有志でやっていた勉強会で、CEOの杉江の講演を聞いて知りました。少数精鋭の環境で、ものづくりの一貫した流れに携われる点、ユーザーに近いところでのづくりができる点に魅力を感じました。前職のホンダでは試験部隊で自動車の部品の強化に携わっており、1年前そこでのプロジェクトをやり遂げたタイミングで、WHILLに移りました。

業務内容は主に、前輪のオムニホイールの開発と、車体全体の耐久試験です。試験内容は、電動車椅子の規格と、WHILL独自の規格があります。定められた規格の条件をクリアすることは大前提として、WHILLではよりお客様に安心してご使用いただくため、独自の項目で試験したり、規格より厳しき条件にて試験をします。どの程度の試験内容にすればというところに関しては、お客様の声を取り入れたりしながら、エンジニアが頭を悩ませて設定します。そういう試験内容をゼロから考えることもやりがいのひとつです。

WHILLでの仕事の面白いところは、ユーザーさんの近くでのづくりができるんですね。前職のような大きい会社では、なかなかユーザーさんとの接点を持つことができなかったですが、WHILLではお客様の生の声を聞くことができます。ときどき厳しい声をいただくこともありますが、それも「もっといいものをつくりたい」という我々のモチベーションにつながっています。

NEWS

モンベルのレインウェアをお取り扱いしております

これからの梅雨の季節に向け、モンベルの高性能レインウェアをご紹介します。頭部から上半身を覆う「バラカグール」、腰回りからつま先を覆う「バラレインレッグカバー」、どちらも車いす用に開発されたレインウェアです。WHILL Model A、WHILL Model C、どちらにお乗りでもご使用いただけます。

ご購入は全国のWHILLお取り扱い店舗、または、WHILLコンタクトデスク(0120-062-416)にお問い合わせください。



また、ユーザーの方が乗っている車体を見ることによって、その方の乗り方がわかったり、ユーザーさんが気づかないポイントも車体が語ってくれていて、それを次の改善に生かすことに製品と向き合うことの醍醐味を感じますね。

今後はオムニホイールの性能をもっと上げていきたいです。オムニホイールはまだまだ伸び盛りのものだと思っています。複雑な構造になっているので、もっとシンプルに、お求めやすく、耐久性の高いものに改良を加えていきたいと考えています。

技術的な面も大切ですが、まず何より先に、ワクワクして外に出でて行きたいなるものにしていきたいですね。そして乗ってみて外に出た時に、その性能の高さに気づいていただけるものであります。人の心に寄り添える製品こそが、まさに生活をよりよく変えていくけるものになるのだと思います。

そのため、私はモビリティの枠にとらわれず、視野を広く持って開発を続けていきたいと思います。



バラカグール
12,960円(税込)



バラレインレッグカバー
5,832円(税込)